

「物語に学ぶ心の世界・再び」報告（聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センター主催：2015 カウンセリングシンポジウム）

著者	小野 久志
雑誌名	聖学院大学総合研究所Newsletter
巻	Vol.25
号	No.2
ページ	21-21
URL	http://doi.org/10.15052/00002852

Title	「物語に学ぶ心の世界・再び」報告（聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センター主催：2015 カウンセリングシンポジウム）
Author(s)	小野，久志
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.25No.2, 2016.3 :21-21
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5650
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センター主催 2015 カウンセリングシンポジウム 「物語に学ぶ心の世界・再び」 報告



上段右：平修久副学長

下 段：窪寺俊之教授 堀肇非常勤講師 藤掛明准教授 村上純子准教授

2015年11月13日（金）に、聖学院大学ヴェリタス館教授会室において聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センターの主催による、2015年度カウンセリングシンポジウムが、「物語に学ぶ心の世界・再び」のタイトルのもと、46名の参加者により、開催された。当日は、窪寺俊之教授の司会により、物語、映画、絵本を手がかりに、作品の味わいとその背後にある心や魂の世界を学ぶことをめざす3つの講演が行われた。

堀肇氏は、「ジョージ・マクドナルド『軽いお姫様』」の論題により、日本ではあまり知られてはいないマクドナルドを紹介しつつ、魔女の魔法により「すべての重さ」を奪われた「お姫様」が、湖に落ち、王子と恋に落ちることで、心の重さを獲得するストーリー展開を説明しつつ、人間性の喪失とその回復を、神学的な贖罪論と復活の視点から読み解く視点として提示した。

藤掛明准教授は、「映画『スピード』から」の論題により、作品にこめられた「心の世界」を「とにかく走り続けるしかない」という現代人の心性に重ね、作品に即して危機への対処を比喩的に読み解き、ときには解決への努力が空回りに終わり現状を悪化させることもあることにもふれつつ、予想外の展開を通して、立ち止まること、語り合

うことの有効性を示唆した。

村上純子准教授は、『かいじゅうたちのいるところ』をテキストに、「ひきこもるー立ち止まった時に起こる心の旅」の論題により、頑張りのうちにある時には立ち止まれないが、何か強いられたいときに立ち止まることが必要になり、心のシャッターを下ろしてとじこもることから現実と対する視点の転換により自分を受け止めなおす心の旅が可能になると説明した。

質疑応答においては、異なる視点で読むことは、主人公の感情や気持ちを異なる視点から読むのか、作者の考えを掘り込むことなのか、という問いに、作品のイメージにのりながらよみすすめるなかで、自由なよみこみもあることが楽しい、との応答があった。また、話し合うことや話を聞くことにおける留意点や、聞き手として求められるエネルギーの大きさや、聞き手のメンタルヘルスの問題をいかに考えればよいか、の問いかけに対しては、答えを性急に用意しないで聴くことに徹する構えの必要性和共に、制限時間の枠組みの設定や、くりかえし聞くことによりその内容が語る側のアイデンティティに転化しない配慮の必要性が指摘された。

（文責：小野久志〔おの・ひさし〕 聖学院大学大学院アメリカヨーロッパ文化学研究科博士後期課程）